



## 研修医日記

作成者：沼尾 苑佳（2年次）

皆さんこんにちは。

私は10月7日から一ヶ月、地域研修で沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと南大東診療所にいってきました。沖縄県では終戦後にアメリカ式の医療が行われたため、患者を断らずに全ての救急患者をERで診る米式ERが普及しています。また、エビデンスに則った医療や感染症診療の考え方もしっかりした先生方が多く、大変勉強になりました。南部医療センター・総合内科でお世話になった仲里先生は、常に患者に寄り添い一言でいうと「全人的医療」を行っている素晴らしい先生でした。研修の最後には仲里先生が使用していた教科書も頂きました。先生の診療をみて、医師を志したときの「患者さんの病気を治したい、困っている人を助けたい」という素直な気持ちを忘れてはならないと再認識しました。南大東診療所では、日常診療に加えて漁業体験や農業体験もさせて頂きました。普段病院という狭い世界にいる私にとって、それらはとても斬新で他職種の方々が考えていることを知る良い機会になりました。

沖縄研修は自分のこれから医師人生において大変有意義な一ヶ月でした。指導してくださった先生方、一緒にローテートした研修医の先生方、ありがとうございました。



（左）沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

（右）島の漁師さんと共に釣ったマグロ

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。